

「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回 東目屋中学校区地域意見交換会



と き：平成27年10月16日
ところ：東目屋中学校体育館

東目屋中学校区での主な意見を紹介します。

小中一貫教育を導入することで、先生方が更に多忙化し、子どもたちに目を向けている時間が削られるのではないのでしょうか。



多忙化の可能性もありますが、小中一貫教育の導入によって、小中学校の教員同士が相互に協力し合う体制も強化できます。先生方にとっても負担が少なく、無理のないように実施できればと考えています。

各中学校区の検討課題と対応案については、今後の検討過程で再度地域意見交換会を開催する予定はありますか。



現時点で第4回の地域意見交換会の開催は予定していませんが、さらに詳しい話を聞きたい等の意見も他地区では出ており、必要に応じて地区を絞って再度開催することで検討しています。

学校支援システムの地域コーディネーターとは、外部の人材ですか。また、市全体でチームを編成するということですか。



学区内の人材を想定していますが、人選が難しい場合なども考慮し、もう少し検討が必要だと考えています。またチームは中学校区ごとに編成し、できれば各小学校区で1名ずつコーディネーターを配置したいと考えています。

